

はすもう ひっしょうほう
 マツの葉相撲 必勝法

マツの葉相撲は、2人でマツの葉をからませて引っ張り合い、切れなかった方が勝ちとなるシンプルな遊びです(図1)。どちらが勝つか分からないのでゲーム性があるのですが、実はこれには勝てる技があるのです。

日本でよく目にするクロマツとアカマツの葉は、1カ所から2本葉が出ていて、その断面は半円形をしており、それぞれの平たい面が向かい合うように付いています(図2)。マツの葉相撲では、この2本を分けて引き合いますので、互いの材料は同じです。

勝つ方法は「折り方」にあります。図3のBのように、葉の内がわ(平たい面)が、「く」の形の外がわになるように折るのです。AはBとは逆の方向に折ったもので、負ける折り方です。実際にAとBをからませて引っ張ると、必ずBが勝ちます(図4)。なぜこのようになるのでしょうか。もう一度図3を見てみましょう。Aは先端がやぶれているのに対して、Bはどこもやぶれていません。つまり、Aは戦う前に壊れて弱くなっていたのです。必勝法を知らずにマツ葉相撲をやっている人の多くは、Aの負ける折り方をしているようです。葉の平たい面(内がわ)が親指に当たると少し安定するので、自然にそうなるのかも知れません。もし、Bの勝つ折り方同士が対戦した場合には？ それはどちらが勝つか分かりませんね。

おたみちひと
(太田道人)

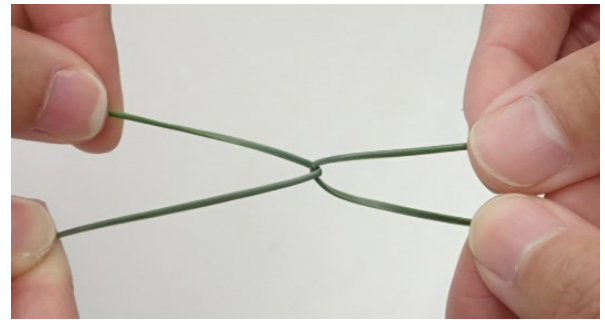


図1 マツの葉相撲の様子



図2 マツの葉の断面

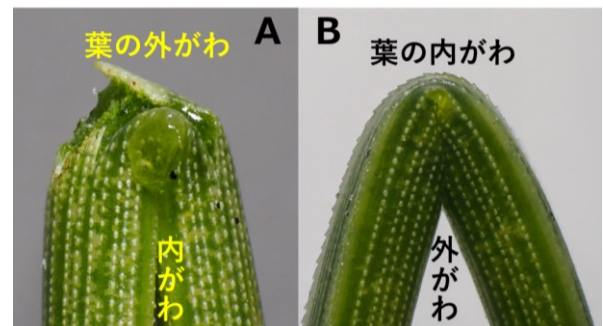


図3 マツの葉を折ったときの様子

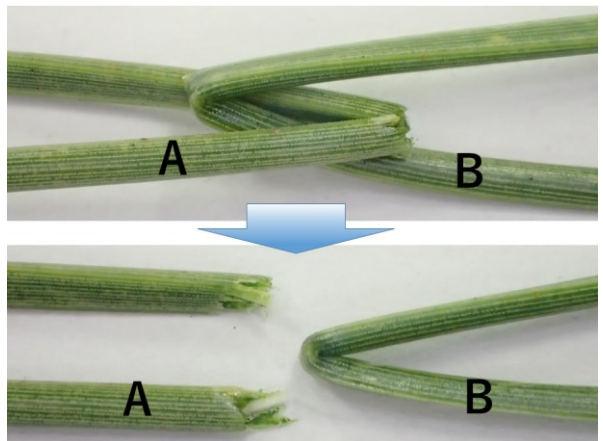


図4 必勝法を使うと…

今月のかぐのギモン：クロマツの葉の「表(おもて)」はどっち？(答えは当館ホームページをご覧ください)